



医療安全管理室

盛翔会では医療安全文化を醸成し、患者様に安全で質の高い医療を提供するためには何が必要かを考え、そのための施策を実践しています。

医療安全管理室は患者様やご家族、病院に来院していただく方々と職員を含めた院内全ての方の安全を守るため、安全・安心な医療を提供できるよう活動しています。

「人は誰でも間違える」という言葉があるように、医療は人が関わるため大小様々な医療事故が発生します。事故が発生しないための対策を講じ、事故を無くすことが一番ですが、事故が発生した場合はそれを最小限に留めることも医療安全の一つです。そのため、「ヒヤッとした、ハッとした」レベルの場合でもレポートを提出し、事故を正しく把握・分析、スタッフ間で共有することで同じ事故を繰り返さないための再発防止策を講じています。

また、対策を講じることで医療事故防止のための手順やマニュアルを見直し、より効率的・効果的なルールを作成し、遵守されるように努めています。

実際に現場で安全・安心な医療を提供できているか、マニュアルに沿って行動できているかを、院内の巡視を行い感染・サービスの面からも確認しています。医療安全管理室では、毎年全職員を対象に医療安全への意識を高めるための研修会を開催しています。研修会ではレポートの書き方、報告・連絡・相談などの事故防止、手指衛生、マスク・手袋の正しい着用などの感染対策、接遇やコミュニケーションなどのサービスについて行い、医療安全について多角的に捉え対策できるような教育も実施しています。

医療事故は個人の問題だけではなく組織の問題としても捉え、システムや環境、物品など様々な要因に気付き、対策していくことが重要です。事故防止の対策には、患者様やご家族も含めた対策もあります。基本理念の「すべての患者と家族のために」を実践するため、ご協力よろしくお願い致します。

医療安全管理室 野沢



新年度の外来診療体制について

新年度より 一部の外来担当医が変わります。

■ 午前診療の変更

内科	火	山城	→	藤倉 (腎臓)
	金	田中	→	田熊 (呼吸器)

循環器科	水	竹内	→	玉嶋
	木	木下	→	玉嶋

消化器科/外科	火	古橋	→	清水
---------	---	----	---	----

皮膚科	月	森本	→	近藤
-----	---	----	---	----

歯科口腔外科		安東	→	松本
--------	--	----	---	----

詳しくは外来担当医表等をご覧ください。



〒431-3113

静岡県浜松市中央区大瀬町1568

TEL (053)-435-1111

FAX (053)-433-2700

Webページはこちら(QRコード) >>



翔き

は ば た

2025
春号
No.77



糖尿病教室の様子。教室は5、7、9、11月の第3水曜日に開催しています。



医療法人社団 盛翔会

浜松北病院

基本理念

思いやりを基本とした
愛情ある医療と福祉を実現する



『自分の足は 自分で守る』

糖尿病ケアサポートチーム
糖尿病療養指導士 法月美佐代

こんにちは、浜松北病院の外来看護師、法月です。私は糖尿病療養指導士としても活動しています。

当院が糖尿病治療に大変力を入れていることは、ご存じの方も多いと思います。糖尿病専門医はもちろん、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師2名・栄養士1名も加わり、月に1度、糖尿病の啓蒙活動について話し合う時間を設けています。コロナ禍では、患者さんを集めて糖尿病教室を開催することが危険と考え、外来待合の壁面に「糖尿病豆知識」のコーナーを設け、活動を続けてきました。しかし、昨年からやっと糖尿病教室を再開することができました。糖尿病の新人さんからベテランさんまで、30人近い患者さんに参加していただき、とても嬉しかったです。

私は糖尿病教室で「フットケア」を担当しています。外来でも、医師から指示を受けて足浴、爪切り、足のケアを行っています。

ところで、皆さんはご自分で足の観察をしていますか？足のトラブルを起こさないためには、足をいたわり、毎日観察してケアすることが大切です。

- (1) 足のチェックを怠らない…毎日足に触れて、見て、観察することが大切です。
- (2) 足を清潔に保つ…毎日優しく洗うこと。石鹸成分はしっかり洗い流すこと。しっかり保湿も大切です。
- (3) 爪を切りすぎない…切りすぎは巻き爪の原因になります。
- (4) 足に合った靴を履く…タコやウオノメ足の変形を防ぐためにも重要です。
- (5) やけどに注意する…お風呂のお湯は必ず手で温度を確認することを習慣にしましょう。カイロやこたつの低温やけどにも注意が必要です。
- (6) 足のトラブルは必ず病院で相談する…自己判断は細菌感染を起こし処置が遅れ悪化することもあります。靴下に血が付いていて気が付くこともあります。靴下は脱ぎ捨てないで観察することが大切です。

「糖尿病の足病変で年間約3000人の人が足をなくしているのをご存じでしょうか？」皆さんの足元が気になってしまうのも職業病でしょうね！自分の足に合う靴を選ぶことは本当に難しいことだと思っています。

私もひどい外反母趾に加えて幅広・甲高のため靴選びには本当に苦労しています。靴選びのポイントは

- ① 靴底が安定していること。
- ② かかと部分に厚みがあること。
- ③ 紐で調節ができること。
- ④ つまさが靴にあたらぬこと。

靴選びのポイント



正しい靴の履き方は足を入れたら、踵をトントンドンとして踵と靴を合わせることがポイントです。踵をトントントンゼび実践してください。

足に合った靴を履くことは、転倒防止にもつながります。私自身も年を重ねて、より一層足の大切さを感じる毎日です。足の健康観察を習慣にして、一日でも長く自分の足で歩く生活を送りましょう。



若返り願望

あちこちでメジロが忙しく花をついばんでいます。風を避け日向ぼっこをすれば汗ばむ位の陽気。一気に春めいてきました。

先日、落の臺を求め山に入りましたが、10分もすると息が切れ、心臓はバクバク。膝の痛みが始まり、最後には身体全体が悲鳴をあげる始末。『富士山で弾丸登山。身動きがとれず救助要請…』の診断を思い出し、「二の舞になってはいかん…」と奮起何とか歩きました。久しぶりとはいえ、体力の低下を実感。栄養相談時、患者様に対し、運動習慣の重要性を話したりしましたが、自分がこれでは…と猛省。「運動やらないとまずいでしょ」という気持ちに至りました。

職場にはペダル付きの運動器具(エルゴメーター)があります。休み時間にペダル漕ぐ運動は出来るかと思いますが、「単調な道路をただ歩くのは楽しいのかな？」とウォーキングには抵抗のある私。あれこれ考えていた時、友人からのラインを受信しました。

「ハーレーダビッドソンに乗りたいから教習所に通いけしたよ…」と。相変わらず元気な友です。別の日には、キャンプの写真も送られてきたりします。夏冬関係なく本気度が伝わってくる写真。バイクで全国駆け回り、野営の練習を兼ねているのだと思います。そんな彼は、白髪こそ増えてはいますが、年々、若返っている様な気さえします。

彼に習い、私も若返りを図ってみようかな。

まずは、運動の動機付け。ハিজのおんじ(爺さん)みたくに野山で動き回りたから、足腰鍛えなくては。仕事が早く終わった時や休みの日には、少し時間かけても、山道を歩いた方が楽しいのかも。とりあえず「今日は何分歩く…、ここを何周する」みたいなプランは、自分の性に合わないのやめておきます。ダンベル代わりにカメラ持参で歩いたら、無理なく続けられたりして。運動を勧められ、なかなか実施に至らない方もおられると思います。少しでも楽しく続く方法をあれこれ考えてみませんか。

管理栄養士 青山

check

足のチェックポイント

□乾燥してひび割れていないか



□冷えていないか



□水虫はないか



□傷や腫れはないか



□皮膚が赤黒くないか



□足の形に変化はないか



□ウオノメやタコができていないか

